

1 平成22年度決算（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

(1) 貸借対照表（平成23年3月31日現在）（単位 円）

資 産 の 部			負 債 の 部		
区分	科 目	金 額	区分	科 目	金 額
流 動 資 産	1 現金・預金	186,160,140	流 動 負 債	1 買掛金	493,794
	2 売掛金	6,430,754		2 未払金	33,824,176
	3 棚卸資産	531,394		3 未払費用	3,436,689
	4 前払費用	788,419		4 前受金	4,412,530
	5 未収収益	119,049		5 1年以内返済 の長期借入金	316,695,000
	6 未収入金	291,442		6 預り金	284,554
				7 未払法人税等	23,741,400
				8 未払消費税等	3,309,400
				9 賞与引当金	1,037,862
	計	194,321,198		計	387,235,405
固 定 資 産	1 建物	1,553,813,470	固 定 負 債	1 長期借入金	694,145,000
	2 建物付属設備	391,372,003		2 退職給付引当金	1,247,400
	3 構築物	33,650,580		計	695,392,400
	4 工具器具備品	91,242,120	負債合計		1,082,627,805
	5 電話加入権	72,800	純資産の部		
	6 投資有価証券	37,153,148	区分	科 目	金 額
			株 主 資 本	1 資本金	1,030,000,000
		2 繰越利益剰余金		188,997,514	
		計		1,218,997,514	
	計	2,107,304,121	純資産合計		1,218,997,514
資産合計		2,301,625,319	負債・純資産合計		2,301,625,319

(2) 損益計算書 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		572,050,691
売 上 原 価		3,149,674
売 上 総 利 益		568,901,017
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		450,467,251
営 業 利 益		118,433,766
営 業 外 収 益		3,545,207
受 取 利 息	542,207	
雑 収 入	3,003,000	
営 業 外 費 用		26,179,782
長 期 借 入 金 利 息	26,179,782	
経 常 利 益		95,799,191
特 別 損 失		3,504
固 定 資 産 除 却 損	3,504	
税 引 前 当 期 純 利 益		95,795,687
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		38,913,154
当 期 純 利 益		56,882,533

2 平成22年度事業報告

当社は、富山市から指定管理者の指定を受けている「富山国際会議場の管理運営」と、固有の事業である「駐車場の運営」を二本の柱として事業を展開してきました。

事業の遂行にあたっては、国際会議場施設及び駐車場施設が一体的・効率的に機能するよう種々の措置を講じるとともに、コンベンション誘致等の営業活動をはじめ、利用のコーディネートなどに努めた結果、富山国際会議場は広く周知されるようになり、学会、講演会、諸会議、展示会等の幅広い催事に数多くの方々のご利用をいただきました。

国際会議場施設の今期の利用率については、用途が広い多目的会議室が76.2%、メインホールが52.9%、その他が57.7%、全体では65.4%でした。

当社所有の駐車場については、今期は98,370台の利用があり、会議場利用者はもとよりANAクラウンプラザホテル富山の利用者の方々等に広くご利用いただきました。

アートサロンについては、富山市の新産業であるガラス製品の魅力を紹介し、気軽に買い求めることができる場となるように取り組んできた結果、今期は11,948人の方々にご利用いただき、売上収入額は4,322千円となりました。このうちガラス製品が4,148千円、物産が174千円でした。

また、軽食喫茶「カフェ・ドゥ・ミュゼ」については、情報発信、くつろぎの場及び「セントラム」の待合いコーナー等の提供とともに、催事者のニーズに応えケータリングも積極的に行うなど集客力の向上に取り組んできた結果、50,229人の方々にご利用いただき、売上収入額は23,267千円となりました。